

平成 30 年度 国際交通政策研究ユニット (ITPU) の活動の概要

1. 教育活動

本学における以下の授業科目への対応。

- 国際交通政策【春・夏学期】
- 地域交通政策研究【秋・冬学期】
- 都市地域政策【秋・冬学期、本学大学院経済学研究科との合併科目として実施】
- 事例研究－都市地域政策と社会資本ファイナンス（問題分析／解決策入門／政策分析）
【通年】
- 航空技術・政策・産業特論【通年、本学「航空イノベーション総括寄附講座」において
分担講義を実施】
- 環境政策論【春・夏学期、本学新領域創成科学研究科において分担講義を実施】

2. 有識者招聘による公開セミナーの開催

- 交通・観光分野における有識者を招聘し、「『観光』の再構築～シン・観光を目指して～」
をテーマに、ITPU セミナーを開催【平成 31 年 2 月 13 日、本学】

3. 研究活動

- 「ATRS（世界航空学会）World Conference 2018」に出席し、最近の研究成果について、
聴取するとともに、引き続き ATRS 会長、ブリティッシュ・コロンビア大オウム教授、チ
ャン教授等と今後の ITPU の活動への支援や助言を得た。【平成 30 年 6 月 2～5 日、ソウ
ル（韓国）】
- 大橋教授が Brookings Tsinghua Center Conference 2017 Air Transportation Issues in
China and Other Countries にて発表（“Market Structure and Endogenous Product

Characteristics: A Study of Japanese Airline Mergers and Remedies”) (2017年9月)。
なお同論文は、International Journal of Industrial Organization に公刊 (2017年11月)

- 宿利客員教授が「IHRA 国際フォーラム 2016 高速鉄道が創り出す社会、そしてその未来：真に高速鉄道を活かすための課題とその克服への挑戦」を JREA 60(4)にて発表 (2017年4月)
- 長谷特任教授が「洋上風力発電の進展と船舶航行との調和」について、科研費報告「海洋ガバナンスの諸相」にて報告 (改編の上公表予定) (2018年3月)
- 山口客員研究員が「都市間鉄道との競争を考慮した国際航空市場の分析」を交通学研究 61号にて発表 (2018年3月)